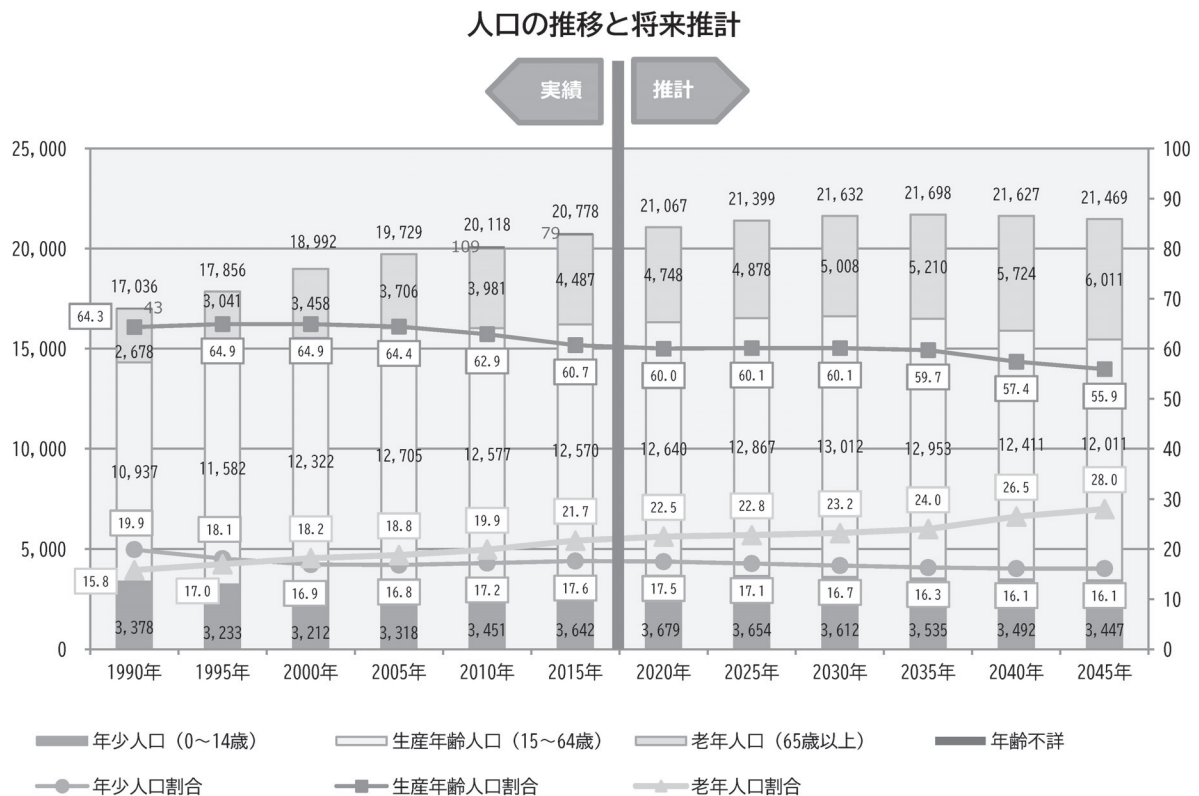


## 第2章 愛荘町の現状と課題

### 1 愛荘町の観光を取り巻く環境の現状

#### ① 人口の推移と将来推計

本町の人口は増加傾向にあり、2015年（平成27年）国勢調査では20,778人と過去最高の人口となっています。年齢3区分別にみると、生産年齢人口（15～64歳）は2005年（平成17年）をピークに微減傾向に転じる一方、年少人口（0～14歳）は2000年（平成12年）以降微増傾向に転じています。老年人口は一貫して増加傾向にあり、高齢化率（老年人口割合）は2015年（平成27年）で21.7%とほぼ5人に1人の割合となっています。将来推計人口をみると、今後もしばらく人口増加傾向が続きますが、2035年（令和17年）をピークに減少傾向に転じるものと予測されます。



資料：1990～2015年＝国勢調査、2020～2045年＝『日本の地域別将来推計人口（2018年（平成30年）推計）』

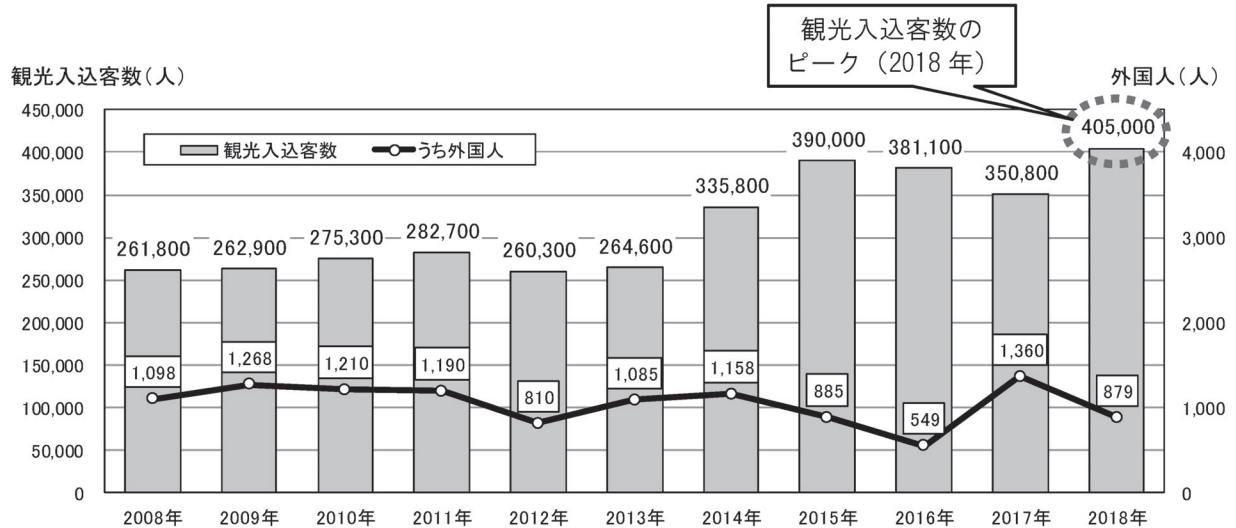
（国立社会保障・人口問題研究所）に基づく独自推計。

注）年齢3区分人口割合は年齢不詳を除いて算出しています。

### ② 観光入込客数の推移

本町の観光入込客数は、2008年（平成20年）以降、概ね年間27万人前後で推移していましたが、2013年（平成25年）の名神高速道路 湖東三山スマートICの開通および翌年の観光情報発信施設 湖東三山館あいしょうのオープン等に伴い、増加傾向に転じ、2018年（平成30年）にはピークとなる約40万人を達成しました。

また、外国人観光客は、年間1,000人前後で推移しています。



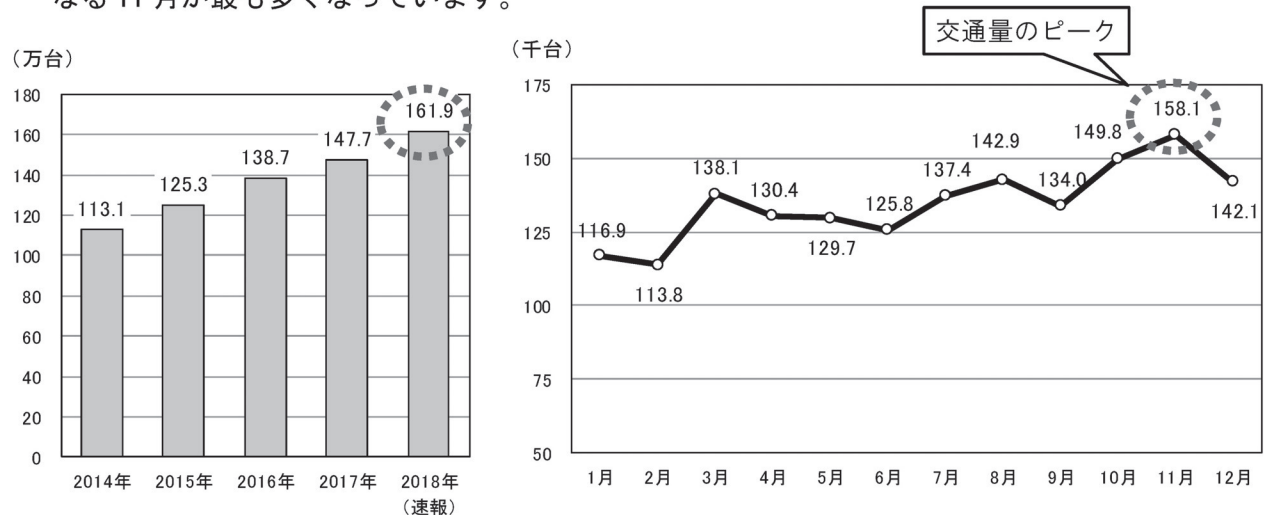
愛荘町観光入込客数の年別推移

出典：滋賀県観光入込客統計調査（2008年～2017年）、愛荘町資料（2018年）

### ③ 湖東三山スマートインターチェンジの利用状況

湖東三山スマートICの利用台数は開通当初の2014年（平成26年）以降堅調に推移し、2018年（平成30年）には年間約162万台の利用となっています。

2018年（平成30年）の湖東三山スマートIC月別利用台数は、秋の観光シーズンとなる11月が最も多くなっています。



湖東三山スマートIC年間利用台数の推移

（2014年（平成26年）～2018年（平成30年）速報）

出典：滋賀県観光入込客統計調査（2008年～2017年）、愛荘町資料（2018年）

湖東三山スマートIC月別利用台数

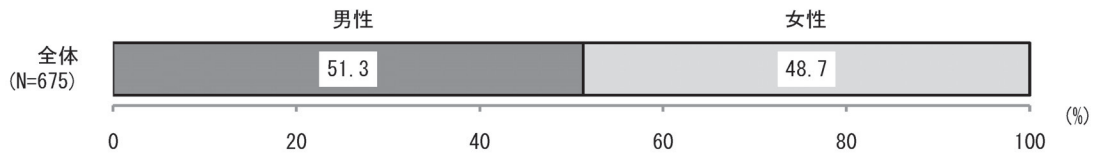
（2018年（平成30年）速報）

出典：滋賀県観光入込客統計調査（2008年～2017年）、愛荘町資料（2018年）

#### ④ 愛荘町観光客の属性

##### (1) 性別

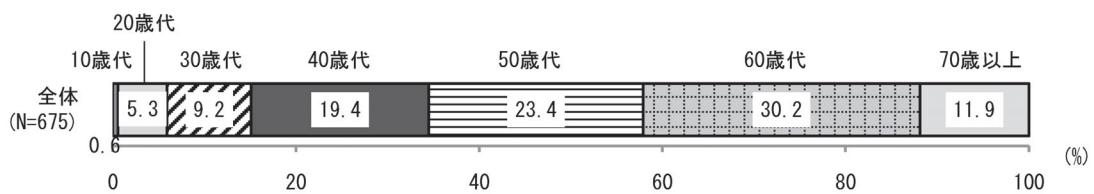
回答者の性別は、「男性」が51.3%、「女性」が48.7%とほぼ同率となっています。



出典：愛荘町観光意識調査（2018年3月）

##### (2) 年齢

回答者の年齢構成は、「60歳代」が30.2%と最も多く、次いで、「50歳代」が23.4%、「40歳代」が19.4%、「70歳以上」が11.9%、「30歳代」が9.2%となっています。



出典：愛荘町観光意識調査（2018年3月）

性別・年齢別・居住地域別を併せてみると、下表のようになっています。

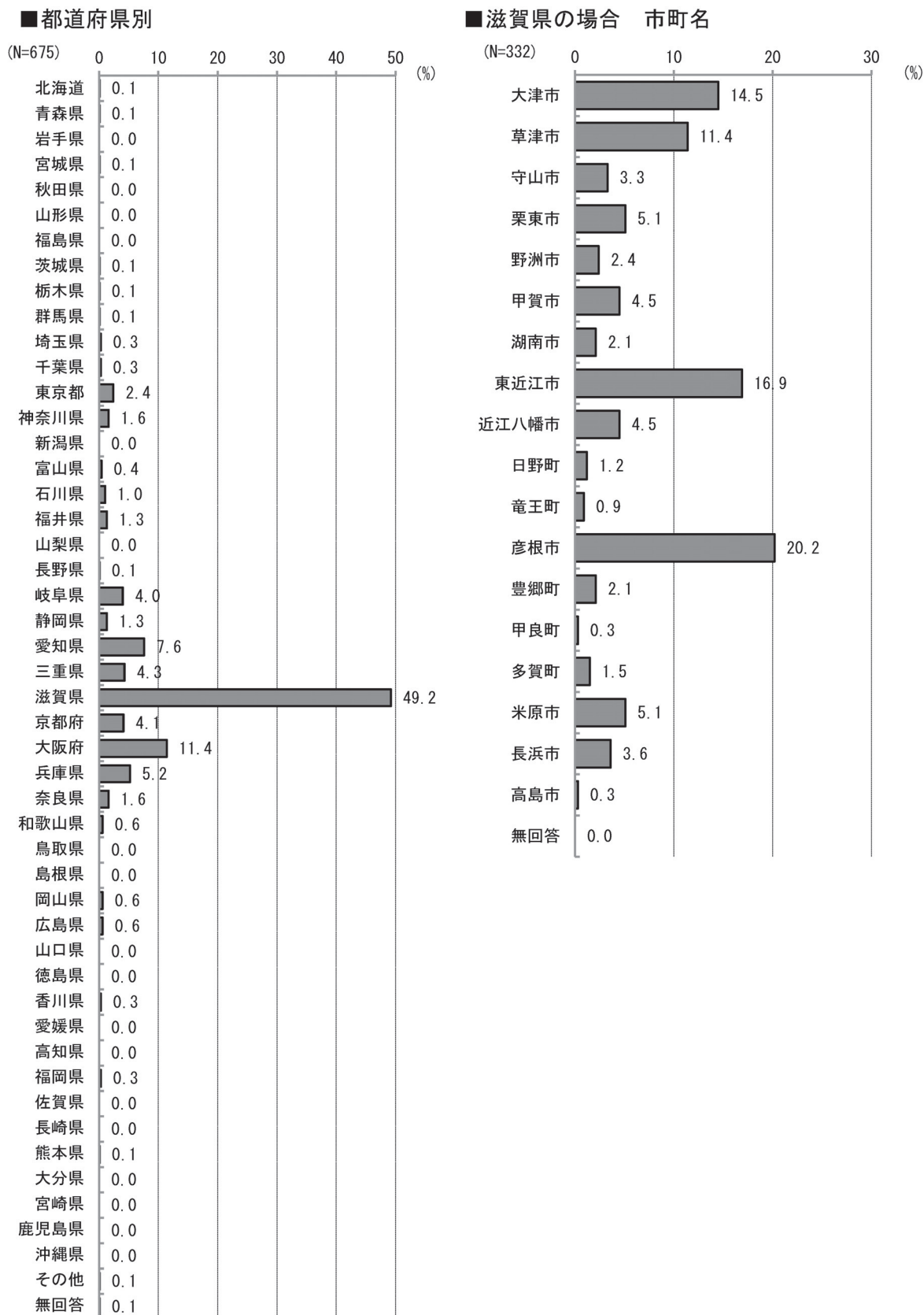
		N	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
性別	男性	346 100.0	1 0.3	20 5.8	35 10.1	65 18.8	71 20.5	111 32.1	43 12.4
	女性	329 100.0	3 0.9	16 4.9	27 8.2	66 20.1	87 26.4	93 28.3	37 11.2
居住地域別	北海道・東北	3 100.0	0 0	0 0	0 0	0 0	1 33.3	2 66.7	0 0
	関東甲信越	35 100.0	0 0	0 0	2 5.7	8 22.9	6 17.1	14 40.0	5 14.3
	東海北陸	135 100.0	1 0.7	3 2.2	11 8.1	19 14.1	37 27.4	54 40.0	10 7.4
	近畿	487 100.0	3 0.6	33 6.8	47 9.7	101 20.7	110 22.6	129 26.5	64 13.1
	滋賀県	332 100.0	3 0.9	23 6.9	34 10.2	71 21.4	72 21.7	83 25.0	46 13.9
	滋賀県以外	155 100.0	0 0	10 6.5	13 8.4	30 19.4	38 24.5	46 29.7	18 11.6
	中国・四国	10 100.0	0 0	0 0	1 10.0	1 10.0	2 20.0	5 50.0	1 10.0
	九州	3 100.0	0 0	0 0	0 0	2 66.7	1 33.3	0 0	0 0

出典：愛荘町観光意識調査（2018年3月）

(3) 居住地域

愛荘町に観光に来られた人の居住地域は、滋賀県が49.2%と最も多く、次いで大阪府が11.4%、愛知県が7.6%となっています。

また、滋賀県内では、彦根市が20.2%と最も多く、次いで、東近江市が16.9%となっています。



出典：愛荘町観光意識調査（2018年3月）